

四万十図書館だより

発行*四万十市立図書館

装いも軽やかになり、春の訪れを感じる心地よい季節になりました。
今年度も図書館では、市民の皆さまが本に触れあうことができるようなさまざまな行事を予定しています。今月は、一般行事『映画上映会』・児童行事『ぬいぐるみとしょかんおとまりかい』を開催します。5月以降の行事についても順次、図書館だより・広報・ホームページなどでお知らせします。

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

→休館日

4月図書館情報

本 館

一般行事 映画上映会「ラーゲリより愛を込めて」

日時 4月6日(土)13:30～(開場 13:15)

場所 市役所3階防災対策室

対象 高校生以上

定員 25名

申込 不要

児童行事 ぬいぐるみとしょかんおとまりかい

日時 4月20日(土)14:00～15:00

4月21日(日)11:00～12:00

場所 図書館多目的ホール

対象 4歳～小学4年生

※未就学児は保護者同伴

定員 10組(15名程度)

※両日参加可能な方

申込：事前申込制

※詳細はお電話か図書館カウンターまで

一般展示

「『うた』をたのしもう」

詩・和歌・短歌・俳句・百人一首・童謡・オペラなど本を展示しています。

場所：一般展示コーナー

郷土展示

「やなせたかしの世界」

高知県出身のやなせたかしさんの書いた絵本やエッセイなどを展示しています。

場所：郷土展示コーナー

児童展示

「ぼうけん」

冒険をテーマとして、絵本・読み物・知識の本などを展示しています。

場所：児童郷土棚上コーナー

ティーンズ展示

「放課後、休日何して過ごす？」

部活・アルバイト・勉強・趣味など、放課後や休日の過ごし方に関する本を集めました。

場所：ティーンズ展示コーナー



新着本紹介



小説	『板上に咲く』 原田 マハ
『あきらめる』 山崎 ナオコーラ	『ヒポクラテスの悲嘆』 中山 七里
『アルプス席の母』 早見 和真	『フェスタ』 馳 星周
『生きる演技』 町屋 良平	『碧空の音』 あさの あつこ
『未だ謎』 佐伯 泰英	『紅珊瑚の島に浜茄子が咲く』 山本 貴之
『うまいグッツ』 坂木 司	『山の上の家事学校』 近藤 史恵
『うらはぐき風土記』 中島 京子	『レイアウトは期日までに』 碧野 圭
『火輪の翼』 千葉 ともこ	エッセイ
『さよなら凱旋門』 蜂須賀 敬明	『女盛りはハラハラ盛り』 内館 牧子
『サロメの断頭台』 夕木 春央	『しんがりで寝ています』 三浦 しをん
『しをかくうま』 九段 理江	『ゆるるマナー』 青山 七恵 他
『捨てたい人捨てたくない人』 群 ようこ	手記
『定年物語』 新井 素子	『ベニシアの「おいしい」が聴きたくて』 梶山 正
『時ひらく』 辻村 深月 他	郷土
『虎と兎』 吉川 永青	『ずっと、ずっと帰りを待っていました』 浜田 哲二 他
『夏空』 今野 敏	『ワンダーJAPON 8』

歴史	ファッション
『大坂の陣全史』 渡邊 大門	『徳田民子さんのおしゃれと暮らし』
『高台院』 福田 千鶴	『似合う服だけ着ていたい』 霜鳥 まき子
『切腹の歴史』 大隈 三好	料理
『戦国大名大友家の年中行事と館』 大友館研究会	『一生使える冷凍・冷蔵のコツ』
旅行	『毎日おみそ汁365日』 えちごいち味噌
『るるぶ愛知』	『豊かなフランス料理ジビエ料理の探求』 依田 英敏
『るるぶ日本遺産』	『科学でわかるパンの「なぜ?」』 梶原 慶春 他
生物	農業
『アンモナイト学入門』 相場 大佑	『図解でよくわかる菌ちゃん農法』 吉田 俊道
『蜂の奇妙な生物学』 光畑 雅宏	『農家の法律相談 続』 馬奈木 昭雄
医学	芸術
『1日で治せる鼠径ヘルニア読本』 池田 義博	『季節を楽しむかわいい切り紙』 うえはら かずよ
『ウルトラ図解アルコール依存・薬物依存』 樋口 進	『水彩画 日本の美しい風景を描く』 久山 一枝
『双極症と診断されたとき読む本』 加藤 忠史	『はじめての指揮法』 斉田 好男

四万十市立図書館 利用案内

開館時間・休館日 午前9時～午後7時／館内整理日(毎月最終金曜日)・年末年始・蔵書点検期間など
 貸出規則 図書10冊(2週間)／雑誌5冊(2週間)／DVD・ビデオ2点(2週間)
 定期的なイベント おはなし会(毎週日曜日10時20分～／場所：おはなしの部屋)
 ※夜間・土日祝日駐車レーンを確保しています (守衛棟北側縦列駐車3台分)